

会 議 録

会議名	平成23年度第3回文化財保護審議会	
事務局	生涯学習課	
開催日時	平成23年12月7日（水） 午前10:00から12:00	
開催場所	802会議室	
出席者	委員	(出席) 鴨下・山口・田中・福島・二宮各委員 (欠席) 赤澤・阿部各委員
	事務局	伊藤・倉澤
傍聴の可否		◎可・不可・一部可
		傍聴者：なし
不可の理由		
(要点筆記)		
会 議 次 第		
1 報告・協議事項		
1) 文化財ウィーク主催事業実施結果について		
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財センター企画展 ・文化財講演会 ・文化財めぐり 		
2) 多摩郷土誌フェアへの参加について		
3) 『武蔵野公園低湿地遺跡』説明板について		
4) 史跡玉川上水・小金井桜整備活用事業について		
5) 真明寺（貫井南町3-8-4）視察報告		
会 議 結 果		
(鴨下副会長)		
ただいまより第3回文化財保護審議会を開催します。では事務局のほうで進行をお願いします。		
(倉澤)		
まず、平成23年度の文化財ウィーク主催事業の実施結果についてご報告させていただきます。		
①文化財センター企画展について		
11月1日から開催している、23年度に市が指定・登録を行った文化財の展示		

を中心とした企画展は、11月末時点で472名の方が来館しており、例年の秋の企画展並みの出足です。

開催期間は12月末までとまだ日があるので、市内の広報掲示板に今一度ポスターを出す予定で、さらに集客を図っていきたいと考えております。

②文化財講演会について

11月5日に二宮先生にお話しいただいた文化財講演会は、内容が専門的なこともあり参加者は12名とやや少なめでしたが、「黒曜石とは何か」という根本的な説明から、その化学組成や原産地の分析方法、また市内の野川流域の遺跡から出土した黒曜石の産地推定の結果など、幅広くお話しいただきました。

お配りした資料は、先生に沢山ご用意いただいた資料のほんの一部です。参加者の関心は高く、講演後展示されている黒曜石を実際に見ながら、様々な質問が出ていました。

③文化財めぐりについて

11月12日に行った文化財めぐりは14名の方が参加されました。天候にも恵まれ史跡めぐり日和となりました。なお、途中まで鴨下先生にもご参加いただきました。

コースは市役所を出発して、当初は野川沿いを二枚橋まで行く予定でしたが、熱心な質問も多く解説に時間がかかり、手前の小金井水田跡の碑で解散となりました。参加者の中には市外から方も多く、小金井市の歴史がよく分かったと好評でした。

つづきまして、多摩郷土誌フェアへの参加についてご報告させていただきます。この催事は、多摩地域の市町村の教育委員会等が発行している郷土誌関係の出版物を一堂に集め、展示することにより多くの人に紹介し、希望者には有償頒布し普及を図ることを目的として行われているものです。

小金井市は毎年参加しており、今年度は24市4町が参加予定です。新刊は『市史編さん資料50編』のみなので、それほど販売数は見込めないと思いますが、市の歴史や文化財のPRのために今年も参加する予定です。先生方もご都合がつけばぜひお越しください。

(鴨下副会長)

ありがとうございました。では1番2番の報告について、二宮先生、伊藤さんから補足があればよろしくお願ひします。

(伊藤)

二宮先生、ありがとうございました。内容が化学の話で少し難しいところもあったかと思いますが、考古学と自然科学とのつながりが非常に大事だということがご

理解いただけたのではないかと考えております。あらためて御礼を申し上げます。

史跡めぐりにつきましては、今までは鴨下先生等に講師をお願いしておりましたが、大変だということで市の職員、私と学芸員の多田の二人で解説をしました。

企画展につきましては、少しPRが足りなかったこともあり、来場者数も少ないようですが、今後ポスター等を通じてPRしていきたいと考えております。

(鴨下副会長)

二宮先生の講演は私も聞きたいと思っていたのですが、都合がつかず残念でした。代わりに史談会の者が参加して資料も拝見しましたが、とても専門的で詳しい方だったと感想を聞きました。

文化財めぐりの方は、私も金蔵院のところまで一緒させていただきましたが、資料の情報が新しいもので、参加者の方々に非常に好評でした。面白かったと思います。

多摩郷土誌フェアは私も以前行きましたが、改めて目録を見ると小金井市も多くの出版物があるのですね。委員の皆さんも一度行かれてみるといいと思います。

次の報告をお願いします。

(伊藤)では先に4番の、史跡玉川上水・小金井桜整備活用事業について報告いたします。昨年度から東京都がケヤキの伐採、また市民協働でサクラの補植事業を行っております。

これを受け小金井市では、モデル地区の中央部分に人道橋の架設と、緑道の整備を計画しています。これを進めるにあたり『小金井市玉川上水・小金井桜整備活用実施計画策定委員会』という専門委員会を立ち上げ、学識経験者4名を含め今年度は3回会議を行う予定です。

去る11月28日に第2回委員会がありましたので、ご報告いたします。

今回は人道橋の形状や、どのような外観が周辺環境に相応しいかという、基本的な部分を協議していただきました。

また、業者に委託してる環境調査、大気汚染調査、現在架かっている歩道橋の交通調査、人道橋を架ける地点の地質調査、緑道の植生調査の報告等をし、先生方からいろいろご意見をいただきました。

今年度東京都がケヤキ等を伐採する区間は240mで、昨年度の150mに比べかなり長い区間を伐採します。事前に周辺住民にとってアンケートでは8割以上の方が伐採に賛成でしたが、先日行った事前住民説明会では伐採に賛否両論ありました。都では予定通り12月中に樹木の伐採を開始し、その後40本のサクラを補植する計画です。実際に伐採しますとまた周辺住民から色々なご意見が寄せられるかと思いますが、適切に対応していきたいと考えております。

(福嶋委員)

大きなケヤキは伐採計画に入っていないのですか。

(伊藤)

入っています。基本的にサクラ以外の樹木は全部伐採します。先日の委員会で先生方から、全部一度に切らないで例えば南側を先に切り、段階的に伐採していったらどうかという意見も出ましたが、東京都としては若干の緑を残しながらも基本的には全部伐採する計画です。

(福嶋委員)

昔の玉川上水の姿からすると、随分変わってしまっていますね。サクラを育てるという目的のためなら、ケヤキ等を伐採するのは賛成です。

(伊藤)

また昨年度伐採した地区では、日が当たることにより光合成が盛んになり、アズマネザサが繁茂してきています。また切り株からすでに萌芽も始まっており、抑制をどうするかが問題となってきています。

(福嶋委員)

それも前提として伐採を行っているのだから、伐採後の管理は都がしっかりやらないといけませんね。

(鴨下副会長)

橋について聞きたいのですが、今ある歩道橋はしばらく残るのですか。危険が増すまでは歩道橋も残しておいてもいいのではないのでしょうか。

(伊藤)

文化庁としては、国の史跡内に新たな橋を架けることは認められないとのことで、あくまでも歩道橋を撤去してから人道橋を架設するという順序になります。

(福嶋委員)

人道橋の形状はどのようなものになりそうですか。

(伊藤)

つい最近までレンガのアーチ橋だった小金井橋がなくなっていました。昭和の初め頃はレンガのアーチ橋が人気でした。今回もアーチの意匠を残しながらなど、色々検討していただいています。また小金井橋の件ですが、大標札・案内板・水神の移設工事が終わりました。

つづいて昨日真明寺に視察に行きましたので報告をいたします。

真明寺は貫井弁天様の隣りにある、市内で唯一の戦前からの木造建築物です。明治18年頃萱葺きからトタン葺きに修復しています。間口6軒奥行6軒の真四角の

寺院で、昔の形をとどめています。宗派は真言宗豊山派です。本尊は大日如来で古いもので、市内には他に類を見ないような綺麗な仏像でした。周囲は昭和40年代に修復しています。本尊の隣りに不動明王もあり、脇の矜羯羅童子、制多迦童子は昭和40年代に修復しています。

実は隣の貫井神社にも不動堂があるので、もともとはそこにあったものかもしれません。

位牌に歴代の住職の名前が刻まれており、永禄12年(1569)に中興したのではないかと思います。

3月の地震を受け、耐震工事を考えているということです。引き家をして基礎を直し、元へ戻すとのこと。壊すのではないとのことなので、良かったと思っています。

(鴨下副会長)

では引き続き、3番の報告をお願いいたします。

(伊藤)

今年度設置予定の『武蔵野公園低湿地遺跡』の説明板については、前回の審議会でもお話しさせていただきました。

この遺跡は昭和58年に調査をし、その後看板は立ててあったのですが、壊れてしまっているので新たに文面も変えて作ろうと考えております。

崖線の湧水の影響で、縄文時代の植物や木製品等が腐らずに残っている珍しい遺跡です。漆塗りの櫛や槌状の木製品、木の実がたくさん出土しました。また、昔の野川の堰跡から、市内では初めて古墳時代の土器がまとまって出土しました。

もう一度文面を読みますので、ご意見、ご指摘等ありましたらお願いします。

<音読>

あと図面が付きます。前回お示ししたものは、ごちゃごちゃしていて分かりにくいのご指摘がありましたので、すこし内容を削りました。

(鴨下副会長)

図に現在地の表記も入れるようにしてください。

(伊藤)

入れます。本来設置したい場所は都有地で手続きがあるため、市道の敷地内に設置する予定です。

(田中委員)

以前は崖線に等高線がたくさん入っていましたが、削除するんですね。

(伊藤)

等高線はやめたのですが、網かけした方がいいのか考えています。

(福嶋委員)

D地区はひとつにまとめた方がすっきりすると思います。

(伊藤)

そのように変更します。連動して文中の表現も6地点から4地区に変更します。

(二宮委員)

旧野川という表現は、一般的に理解できますか。

(伊藤)

正確に言うと野川は動いているので、現在の位置とは違うのですが、何キロメートルも位置が変わっている訳ではないので、「旧」は削って「野川」という表現に統一します。

(鴨下副会長)

では修正点を反映させ、もう一度音読してください。よろしければ、この内容で作成してください。

第4回文化財保護審議会日程

平成24年2月15日(水) 10:00から 802会議室